
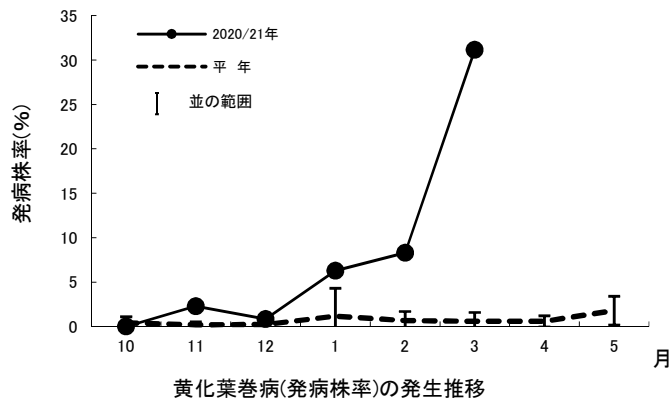


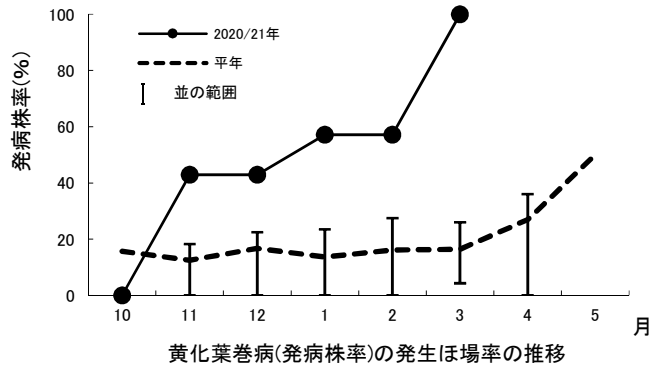
作物	トマト(施設)	地域	沖縄群島
病害虫名	① 黄化葉巻病		
調査結果	3 月の発生量 (平年比)	多	
予報	3 月からの増減傾向	→	
		4 月の発生量 (平年比)	多
予報の根拠		平年の発生量の推移 (→)	

調査結果

(平均)



(発生ほ場率)




防除のポイント

- ・媒介虫であるタバココナジラミの早期発見・防除に努め、伝染源となる感染株は抜き取る。
- ・雑草のムラサキカタバミは塊根に本病の病原ウイルスが感染し次期作の伝染源となるため、根から抜き取る。
- ・感染株及び摘葉残さ、ムラサキカタバミは、施設外に持ち出し必ずポリ袋に入れて密閉処分する。

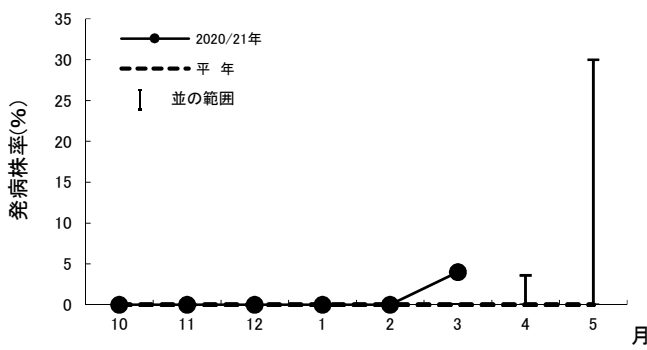


伝染源となるムラサキカタバミ (ヤハタ)

作物	トマト(施設)	地域	沖縄群島
病害虫名	② うどんこ病		
調査結果	3 月の発生量 (平年比)	やや多	
予報	3 月からの増減傾向	↗	
		4 月の発生量 (平年比)	やや多
予報の根拠		平年の発生量の推移 (↗)	

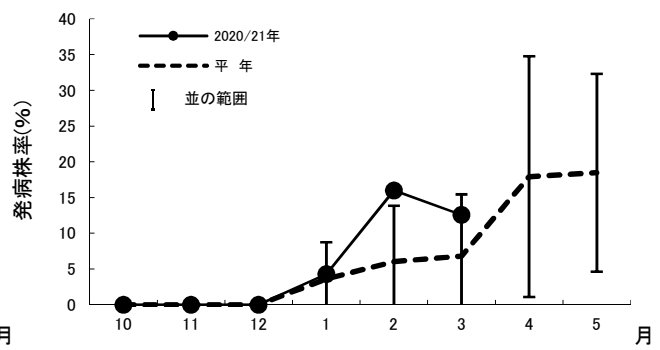
調査結果

(中央値)



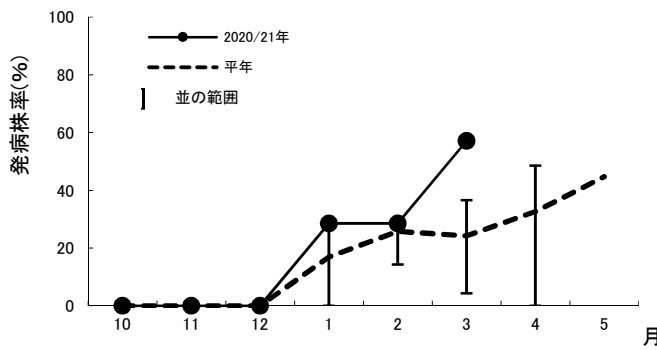
うどんこ病(発病株率)の発生推移

(平均)



うどんこ病(発病株率)の発生推移


(発生ほ場率)



うどんこ病(発病株率)の発生ほ場率の推移

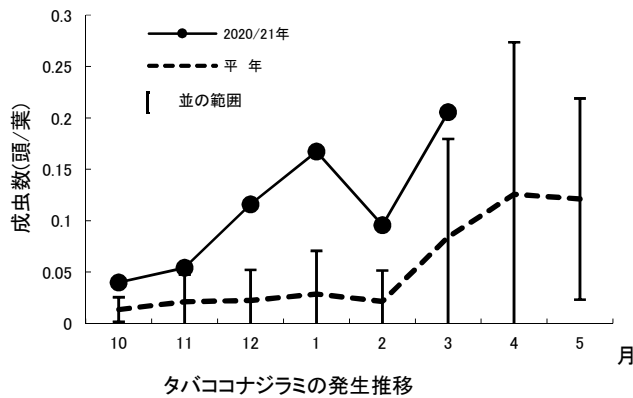
防除のポイント

- ・ 通風が悪いときに多発生しやすいので、老葉を除去し、透光通風を良くする。
- ・ 多湿条件で発生し、その後乾燥が続くと被害が拡大するため、湿度管理に注意する。
- ・ 今後、発生が増加すると考えられるので防除を徹底する。
- ・ 多発すると防除が困難となるので、葉をよく観察し早期防除に努める。

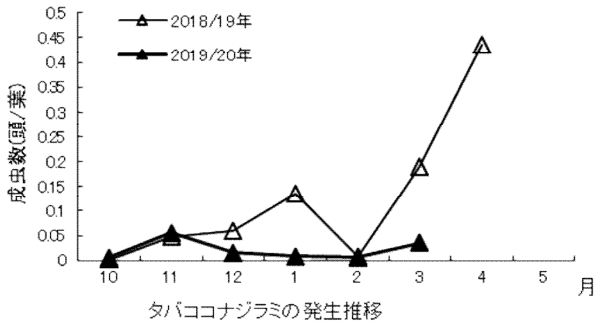
作物	トマト(施設)	地域	沖縄群島
病害虫名	③ コナジラミ類		
調査結果	3 月の発生量 (平年比)	やや多	
予報	3 月からの増減傾向	↗	
	4 月の発生量 (平年比)	やや多	
予報の根拠		平年の発生量の推移 (↗)	

調査結果

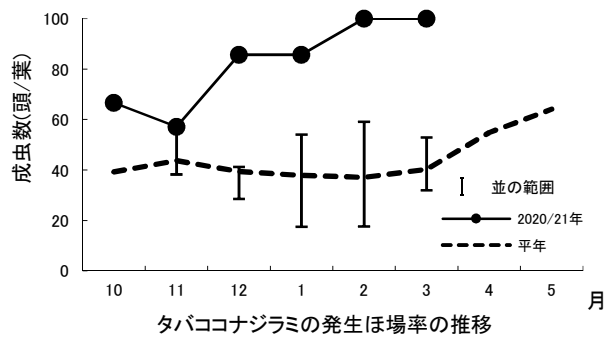
(平均)



(過去2年間の推移)



(発生ほ場率)



防除のポイント

- ・本種はトマト黄化葉巻病を媒介する。
- ・多くの雑草が発生源となりうるので、施設内外の雑草除去に努める。
- ・施設開口部には目合い0.6ミリ以下の防虫ネットを展張し、本種の侵入を防止する。
- ・黄色粘着テープ等により、早期発見・防除に努める。
- ・幼虫は下位葉の葉裏に多いことに留意しながら薬剤散布を行う。